

## 男鹿市ジオパーク学習センターだより 2016・6月



### 修学旅行にジオパーク 札幌市から続々

#### 学習センターで地球の歴史や防災を考える機会に

5月22日にジオパーク学習センターを訪れたのは札幌市の山鼻中学校 109人(生徒・教員・添乗員など合わせて)。センター内では映像学習・体験学習・施設見学の3つのコーナーをローテーションで回り、男鹿半島・大潟ジオパークや全国のジオパーク、防災について楽しく学びました。中でも体験学習では地震発生時の液状化現象について生徒たち全員が実験を行い、自分たちが住んでいる地域と重ね合わせて考察しました。また施設見学では岩石の重さを体感したり、化石を観察したりそれぞれ生徒たちはジオパークに興味津々、熱心に学んでいました。かんらん岩を顕微鏡で観察した生徒は「スタンドグラスみたいにきれい」と感激していました。6月には札幌市の他の中学校も修学旅行で学習センターに来館し楽しい体験学習でジオパークを満喫します。

#### 男鹿を舞台にガイ

#### ド養成講座 鳥海山・飛鳥ジオパーク構想推進協議会

6月1日、男鹿市ジオパーク学習センターを訪れたのは、鳥海山・飛鳥ジオパーク構想推進協議会の皆さん約40人。ガイド養成講座の一環で、現地審査前のトレーニングのため訪れたもので、学習センターでは熱心にメモを取り質問もたくさん寄せられました。鳥海山・飛鳥ジオパークをめざすガイドの皆さんの熱い思いが広がる講座でした。当日はその後、男鹿半島・大潟ジオパークのジオサイトを回りました。船川港築港や丸木舟のジオストーリーを男鹿市民文化会館で、その後、八望台(男鹿目潟火山群)、入道崎のジオサイトを回り現地の様子を観察し、現地審査に備えました。

#### 「私もジオパークを知りた〜い!」 幼稚園児ら館内の体験学習で歓声

園児たちだってジオパークにたいへん関心があります。5月17日に学習センターを訪れたのは



近くの幼稚園の園児たち21人。子供たちは館内の石に触れ合う体験コーナーに集まり「この石重いね」「石にはいろいろな色があるよ」などと皆で話し合っていました。特に人気があったのは黒い線を自動で走るロボットカー「ジオパーク号」。黒い線に手を当てたりしながら歓声を上げていました。このロボットカー遊びは、男鹿市が次世代

エネルギーパークに認定されていることから新しいエネルギーを考えるきっかけづくりに学習センター内に用意しています。新たに崖から落ちないジオパーク2号も用意しましたのでいつでも遊びに来てください。学習センターでは幼児向けの体験学習もいろいろ用意しています。